



# きちょう 几帳結び

几帳(平安時代のインテリア)に飾られていた結びで、最もポピュラーな結びのひとつです。そのまま使うのももちろん、他の結びの続きに結んだり、小さく引き締めてヒモの先止めにしてもおすすめです。

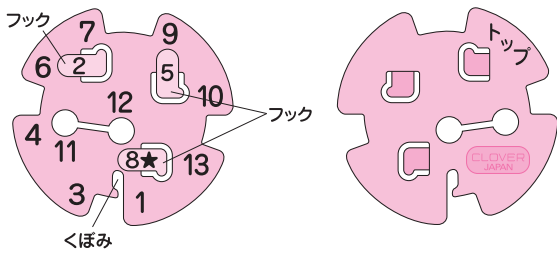


1 6つの文を合わせます

おもて

うら

カードの色はうぐいす色です



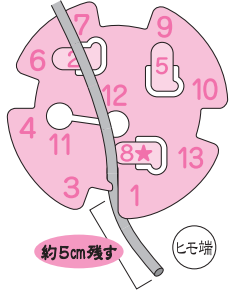
〈はじめに〉  
1～13まで、カードの数字の順番にヒモをかけたり、くぐらせたりします。

## 基本の手順

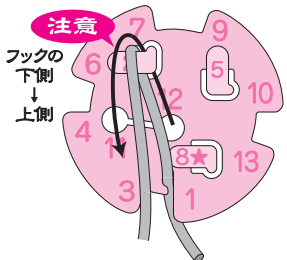
用意するもの… 太さ1～3mmくらいのヒモ(45cm程度)・接着剤(透明に仕上がるタイプ)

2 6から裏側

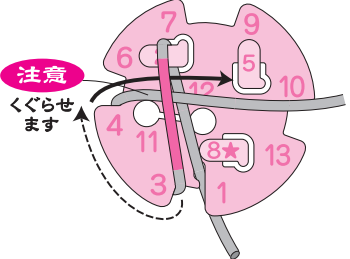
1 ヒモ端を5cmほど残して1のくぼみにかかけます。



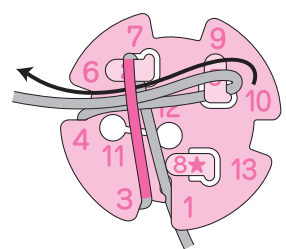
2 続いて2のフックの下側にはめこみ、フックの上側を通して引き返します。



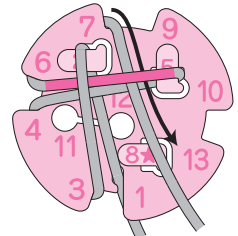
3 続いて3→4とかけて、2-3のヒモ(2のフックの上側と3の角との間)にかかっているヒモをくぐらせます。



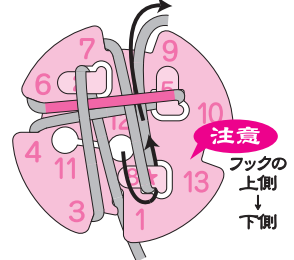
4 5のフックの下側にヒモをかけ、上側を通して引き返し、先ほどくぐらせた2-3のヒモに再びくぐらせます。



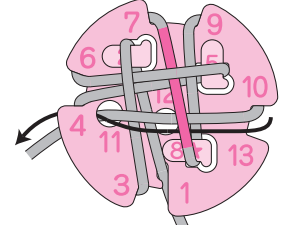
5 6→7とかけ、5-6のヒモ(5のフックの上側と6の角との間)にかかっているヒモをくぐらせます。



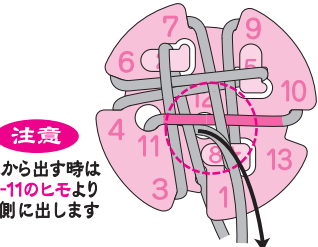
6 次に8★のフックにかける時は、フックの上側からかけ、引き返して下側にはめこみます。続けて、先ほどくぐらせた5-6のヒモに再びくぐらせます。



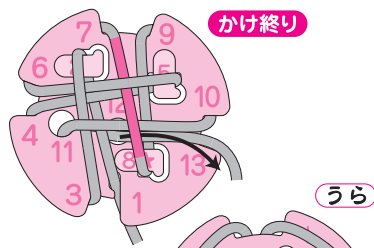
7 9→10とかけて7-8のヒモをくぐらせ、11の穴に入れます。



8 裏を通して、12の穴から出します。

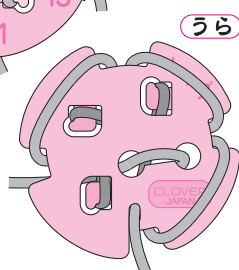


9 先ほどくぐらせた7-8のヒモを再びくぐらせて13にかけ、かけ終ります。



10 結びを11-12ヒモを出して次に表面ヒモを出します

11 ヒモ端を引きます



### 使用上の注意

- 商品の機能上 柔らかい樹脂でできています。ヒモによる摩擦や爪などでもキズが付きやすいので、取り扱いに注意して下さい。
- ストーブの周りや車内など、高温になるところや直接日光の当たる所に放置しないで下さい。変形の原因になります。

くおためしヒモについて

クローバー株式会社

アジア結美 几帳結び 説明書 左

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の ・ 印と合わせてお使い下さい。

